



## 問 よりよい教育への取り組みは

### 答 子どもたちの育ちを支える



公明党  
議員  
うえき 植木 伸寿

**問** 子どもたちの、よりよい教育への環境整備はどう進められているのか。

**答** 小学校では、コミュニティ・スクールとしてミシン・毛筆学習、読み聞かせの支援のほか、花壇やビデオの整備、登下校の見守りなど学校ごとにさまざまな取り組みをしている。家庭教育としては、幼児期が重要であることから講演会や講座を開催し保護者への働きかけを行っている。また、自立して心豊かに力強く社会で生き抜く力を培うため学校だけでなく、家庭・地域



ウェルビーイングに向け読み聞かせ学習の様子

での多様な人々との関わりで自主性や社会性を育む体験活動も行っている。

**問** 子どもたちが、今後の不確実な時代でも、人間的に成長し続け自己実現をさせるための支援についてどう取り組むのか。

**答** 予測困難なこれらの社会で、自ら考え、判断し解決策を見いだせるよう学校・家庭・地域の枠組みを超えて連携し、子どもたちにとってよりよい学びを提供できるように体制作りを進めたい。

## 委員会レポート

議会運営  
委員会

# 「選挙って何だろう？」

委員会活動の一環として、夏休みに選挙管理委員会が主催したエンジョイ・サマースクールの講座「選挙って何だろう？」の様子を見学しました。

参加した小学生に対して、総務省主権者教育アドバイザーの講師が、身近な暮らしと政治との関わりを分かりやすい言葉で説明をしました。主権者教育の入門編に始まり、小グループに分かれての簡単な討議を経て、最後は本物の投票箱を使っの模擬投票まで行われました。

こうした主権者教育は、学校現場などでは取り扱うことが少ないため、私たち議会としても、選挙管理委員会と連携し、さまざまな取り組みに関わっていく必要性を感じました。

